

クリアダッシュ:使用マニュアル

ご使用前にお読みの上正しくご使用下さい

▶必ずお守り下さい◀

車の鏡・窓ガラス・メガネ・レンズには使用できません/洗面ユニットの鏡・ガラス以外の素材の鏡には使用できません/ツヤが強くキズが目立つ素材・濃色の素材・メッキ素材・陶器・金属・塗装面にご使用の際は必ず目立たない所でキズが付かないこと、脱色等をお確かめの上、自己責任にてご使用願います

■ご使用前に■

水垢汚れは非常に硬いアルカリ性の汚れなので本来は酸を使えば簡単に溶かせますが、水垢と鏡には同一の構成成分があり、酸を使うと水垢が溶けると同時に鏡も溶け薬焼けを起こし、枠のステンレスも腐食するため使えません。そのため優しい中性の洗剤で物理的に擦って落とすしかありませんが、ご使用された年数分の水垢汚れが蓄積していますので、頑張って一度で全てを落とそうとは思わず、ご使用された年数分(5年であれば5回)お使い頂くことで必ず改善されますので少しずつ落として下さい。

▷結露と水垢汚れの違い：浴室が暖まり湯気で鏡が曇るのは結露が原因で、これを止めるには洗面ユニットの鏡のように裏にヒーターを仕込むしかありません。湯気で曇った鏡にシャワーをかけても数秒でまたすぐに曇るのが水垢汚れが原因です。汚れをしっかりと取り去れば水をかけてもすぐには曇りません。

■使用方法 + チェックポイント■ → 事前にボトルをよく振って下さい

水垢は鍋の焦げ付きと違い見えない汚れなので以下の要領で感触を確かめながら擦って下さい

① 鏡の表面の汚れをシャワーで洗い流し、水気を乾いたタオルで拭き取ります

② 洗剤を乾いたお掃除パッドに付け、最初に10センチ四方だけを強く擦ります

擦っているとガサガサした感触からコキュコキュと音がしツルツルした感触に変わります

※何度擦ってもガサガサの場合は鏡自体がキズだらけか腐食しているため修復はできません

③ 感触が変わったら、一旦その部分をお掃除パッドで擦りながらお湯で洗い流します

④ 洗い流した所をお掃除パッドで触ると汚れが落ちてツルツルの所とガサガサの所の境目が分かりますので①に戻りパッドに洗剤をつけ汚れの境目を擦りながら押し広げていきます

⑤ 擦り終わったら、お湯を流しながらお掃除パッドで擦り、洗剤分をしっかりと洗い流します

※洗剤分が残ると曇る原因になりますのでお湯で十分に洗い流して下さい

使用後、乾くと白い汚れが現れたりシャワーの水をかけてもまたすぐに曇ってしまう場合はまだウロコ汚れが取りきれず残っていますので、再度同じ作業を繰り返して下さい

▷キズがある鏡の場合

クリアダッシュで汚れを落とすと以前に付けたキズが出てくる場合がありますが、7日もすると新しい水垢の皮膜が被いキズは見えなくなります。(ただしキズの中にある汚れはもう落とせません)キズにより水垢が付き易くなっていますので、こまめなお掃除を心がけて下さい。

▷曇り止め加工の鏡の場合

曇り止め加工の鏡は半年程度で曇り止め効果が失われ、曇り止めコートの上に水垢ができるので、曇りを解消するには曇り止めコートも剥離しないと解消されません。手で落とすには時間と労力がかかるのでオービタルサンダーのご使用をお勧めします(商品ページのf-4の四角に写真と説明があります)

※オービタルサンダー用のお掃除パッド：ノーカット版(4枚分の大きさ)→ご注文はお電話でのみ

▷ガラスの場合

平滑な鏡と違いガラスの表面は荒れているため水垢汚れが固着しているため、鏡よりも落とすのは大変です。早くキレイに落とすには上記同様オービタルサンダーのご使用をお勧めします。

▷ガリガリする水垢の場合

爪で触るとガリガリする厚みがある水垢の場合は事前にヘラ等で少し削り取ってからご使用下さい。

■日頃のお掃除■

日頃はお掃除パッドで水洗いし入浴後には鏡の水気をよく拭き取ってから乾燥させて下さい。

1週間に一回程度を目安にクリアダッシュでお掃除をして下さい。